

阿嘉島の昆虫 Part2

希少種「アサトカラスヤンマ」との 出会い

The encounter with the rare dragonfly, *Chlorogomphus brunneus keramensis*

T. Kamibayashi
E-mail: kamibayashi@amsl.or.jp

その珍しいトンボを知ったのは、随分前のことでした。1996年(平成8年)7月9日、麻布大学の鹿野 伸氏が渡嘉敷島と阿嘉島の方に生息するという幻のトンボ「アサトカラスヤンマ」の生態調査の為に来所されました。アサトカラスヤンマは、1969年に沖縄のトンボ研究者、安里 進氏によって、阿嘉島で初めて採られた珍しいトンボです(Asahina 1972)。その時には、阿嘉島でもっとも多くの種類のトンボを観察できると思われる阿嘉島の水源、ウタハ堰とその下流域を案内しましたが、多くのトンボを目にしたものの、お目当てのアサトカラスヤンマには出会えませんでした。翌日、鹿野先生は朝早くから渡嘉敷島に渡って本種を探されましたが、残念ながら見つけることが出来なかったようです。それ以来、アサトカラスヤンマは私にとっても気になるトンボになりましたが、その姿を見ることはありませんでした。

2009年(平成21年)7月19日、夏の日午後、私はシークワサーの実を収穫するため、普段はあまり人が立ち入らない中岳の中腹に出向きました。ひとしきりシークワサーの実を収穫した後、カメラを片手に山道を歩いてみました。すると、薄暗い山中、静かな生命の営みに遭遇しました。シークワサーの木からほど近い、松の木の梢に止まった大型の2匹のトンボが交尾の最中だったので(写真)。そして、その2匹のトンボを見た瞬間、私はそれが「アサトカラスヤンマ」だと確信していました。きっと、幾度となく目にしていた

鹿野先生の置いていかれた本種の標本写真が、記憶の片隅にあったためでしょう。交尾を観察した時間は15時22分から16時8分の約50分間で、その後2匹は離れ、ほどなく飛び去りました。

それから、幾度となく、本種の発生時期といわれる6月中旬から8月上旬には同じ場所を訪れていますが、今日まで会えずにいます。また、同時期のウタハ堰周辺でも未確認です。本来、アサトカラスヤンマは山間部の源流域の清水を好むものなので、淀んだ水域のウタハ堰とその下流周辺には生息していないのかも知れません。どうやら、容易には立ち入れそうもない堰の上流域も調べる必要がありそうです。

渡嘉敷島の河川の源流域では本種の繁殖行動が確認されていますが、阿嘉島では私が見たもの以外、今日まで確認されたことはないようです。そこで、局地的かつ短時間ですが、本種の幼虫が生息していないか調べてみました。まず、研究所に隣接するウフガー(井戸)の奥手を流れる沢の溜まり(淵)です。この溜まりにはこの沢の主である多くのヌマエビが生息しますが、網を入れるとヌマエビに混じって、少数ながらトンボ科とイトトンボ類(イトトンボ科、モノサシトンボ科、ヤマイトトンボ科などの総称)の幼虫(いずれも種不明)を観察することが出来ました。そして、アグに下る2つの水系では、片方の沢で少数のヌマエビと共に数多くのイトトンボ類の幼虫の確認が出来ました(種は不明)が、ここにも本種らしき幼虫(オニヤンマ科)はいませんでした。



アサトカラスヤンマの交尾

撮影日時：2009年7月19日、15時39分。
上が♂、下が♀。♀は腹部後端にある生殖器を♂の腹部前端の副性器と接合させて精子を受け取ります。沖縄県レッドデータブックでは、アサトカラスヤンマは絶滅危惧Ⅱ類(危急種：絶滅の危機が増大している種)とされています。和名の「アサト」は発見者である沖縄のトンボ研究家、安里進氏の名字に因み、「カラス」は♀の翅の色が黒褐色なのに由来します。日本蜻蛉学会監事の渡辺賢一氏によると、今回の個体は、阿嘉島では原記載以来、実に約40年ぶりの再確認でした。

た。しかし、これらの調査は林道から侵入し易い、水系の中下流域に偏っているため、上流や源流域を探せば、本種の幼虫を見つけ出すことが出来るのかも知れません。

阿嘉島の上記の3つの水系は、水量の少ない山間部の沢、あるいは小渓流と呼べるもので、雨量の少ない時期には流れが途絶える場所も現れることが考えられます。そんな厳しい環境でどのように生き長らえてい

るのか、水量の限られた、わずかな水域に生息するアサトカラスヤンマ以外のトンボたちにもこれから目を向けて行きたいと思います。

●引用文献

Asahina S (1972) Additional notes to the knowledge of the odonate fauna of Taiwan and the Ryukyus. Tombo 15(1/4): 2-9